

富士見市協働事業提案制度アイデア提案一覧（令和2年10月登録）

登録番号	1
事業の名称	心とお腹をいっぱい！ #駆け込み寺食堂へ行ってみよう
提案者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他
登録の目的	担い手・団体の募集
アイデア提案の概要 ①着目した点 ②解決方策 ③効果	①着目した点 虐待増加 ②解決方策 1. 開けた食堂を設立。孤育て者、単身者、ご高齢の方、障害者等、周りに気をつかうあまり外食が難しかった方々でも入りやすい場を提供。 2. 食事を通して、食堂従業員や他のお客様とコミュニケーションが図れる場とする。 3. 話すことでストレス軽減、外食することで家事の軽減、コミュニケーションをとることで現在の課題に対する有効な情報を得る可能性も広がる。 4. 心が満足→育児や介護も気持ちに余裕ができる→虐待減少 ③効果 1. 孤独解消 2. ストレス解消 3. 交友関係拡大 4. 助け合いの精神が根付く 5. 優しい街づくりができる 6. 市民人口の増加
提案者が果たす役割	食堂の運営
市に期待する役割	1. 事業者の募集について 事業者募集を行う際に、新型コロナウイルスによって経営が困難又は困難になり得る飲食店を含めたい。 市に経営困難で相談に来られた経営者へ案内を希望。 理由) 困難事業の再生を図ると共に、提案事業の運営場所確保も狙う。 2. 事業運営場所確保について 活動事業者が決定したものの、場所の確保ができなかった際には、空き家再利用を検討したいため、空き家物件情報の提供をしてほしい。 理由) 空き家対策の解消 3. 告知について 広報誌・HP への掲載、市内保育所から老人ホームまで幅広い世代へチラシ配布を行い、集客の協力を行ってほしい。 理由) 円滑な運営と、市民が気軽に利用できるコミュニティが存在することを知ってもらうため。